

# デイサービスの移転先が決まりました

みなさん、この夏の猛暑をしのぎ、秋をお迎えのことと存じます。まだもう少し暑が続きます。また、夏の疲れも出ます。引き続き体調には十分にお気をつけてください。

さてご利用のみなさん及びご家族のみなさん、ご近所のみなさんには大変心配をおかけしていましたが、デイサービスの移転先が決まりました。来年早々に移転する予定です。現在の第2こだまデイサービスのすぐ東側、歩いて1分とかからない



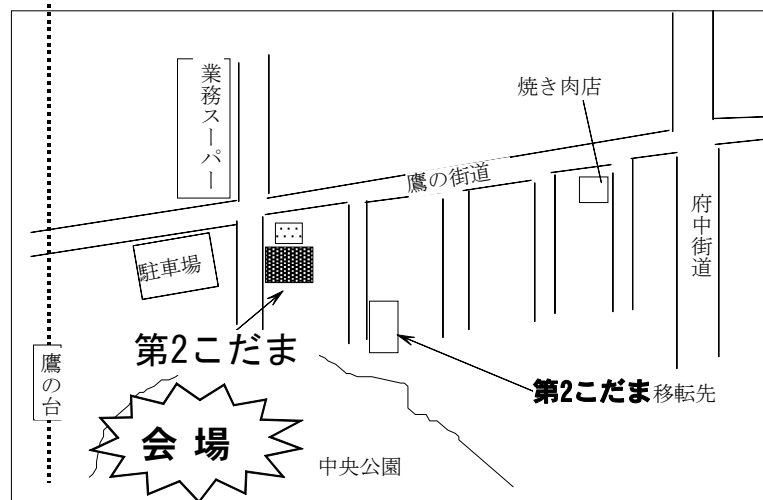
およそ65年前決定された都市計画道路がいよいよ施工されるため、閑静な住宅街だったところは立ち退きでぽっかり空き地ができ、周りは金網で仕切られました。こうなってもう10年近くが過ぎました。正面の白い住宅と木立ちの見える部分が引っ越し先です。これから都市計画道路部分の切り取り工事があり、その後改修です。

ところで、105坪の敷地をもつ空き家を改修して移転します。すでに購入契約を結びました。2006年の最高裁決定で都市計画道路3・2・8号線が通るため、立ち退きを迫られていました。

この場所は、みなさんからの福祉債権へのご協力、近所の方のお世話、売り主さんのご好意、などが合わさって確保することができました。このあと改修工事があります。福祉債権は購入の一部と改修費用に充てるためにお願いしました。まだお考え中の方、すでに出したけれどもう少しなら、という方、どうかみなさんのお気持ちをお寄せください。

(福祉債権についてお聞きになりたい方は、第2こだままでお問い合わせください。)

## 第2こだまデイサービスで最後のバザー (11/9)



このほど第2こだまでは、現在のデイサービスの場では、最後となるバザーを開くことになりました。期日は11月9日(日)、午前11時開会です。どうかみなさんの日用品などで余りものなどをご提供ください。詳しくは追ってチラシなどでお知らせします。提供される方はやまびこか第2こだままでお電話いただければ引き取りに伺います。どうぞよろしくお願いいたします。

介護を必要とされる方はやまびこ・第2こだまデイにすぐ連絡ください  
今現在、どちらも空きが出ており、すぐにご利用できます

小規模多機能サービス／デイサービス／ホームヘルプ／移動サービス／介護支援センター

第2こだま通信 121号 2025年 9月

小規模多機能サービス やまびこ  
小平市津田町3-27-7  
TEL 042-349-3655  
FAX 042-349-3656

第2こだまデイサービス  
小平市津田町1-12-8  
TEL 042-343-0456  
FAX 042-313-6605

《発行》特定非営利活動法人地域福祉ネットワーク 第2こだま  
ホームページ <http://dai2kodama.org>

## 赤井さん、100歳の誕生日祝いしました

100歳を迎えた赤井さんに、インタビューしました。

—100歳を迎えた感想をお聞かせください

率直にうれしいです。デイサービスは楽しいし、もっと頑張って長生きしようと思います。

—今年は戦後80年、戦争が終わったのは赤井さんが20歳のころですね

もうその頃は小学校の先生をしていました。山梨県の四尾連湖の近くの山の中の小学校の1年生の担任でした。空襲警報が鳴ると小学校は狙われるので子どもたちを連れて山の中の畑などに避難しました。

—亡くなった旦那さんとの出会いはどんなでした？仕事はずっと続けましたか？

山梨の学校での同僚で知り合って結婚しました。戦後東京はどんどん人口が増えて先生も足りず、募集があったのでその後一緒に東京に出てきました。最初は杉並で先生をし、出産を機に小平に当時のおカネで4万円の土地を買って家を建て、その後はずっと小平です。2回の産休がありましたが、国分寺、小平で60歳まで働きました。

介護のことなら何でも第2こだまにご相談ください



赤井さんの誕生日の7月15日、100歳のお祝い会をしました  
赤井さんは第2こだまデイサービスに15年通っています。



# 介護の充実を求めて小平市に要望

第2こだまは今年も「みんなの要求みんなで実現」の小平総行動実行委員会に参加し、去る7月31日、午後半日を費やして小平市に要望を提出し、話し合いをもちました。実行委員会が今年の前半に市内各地の市民要求をまとめた一環です。私たちの昨年暮れに利用者・スタッフアンケートを行い、それを軸にまとめた要望です。残念ながら、要望はすぐに実現というわけにはいきませんでした。これからも繰り返し要望していきます。全国的にも介護の充実を求める署名運動も始まりました。私たちは合わせてこの署名にも取り組んでいきます。以下は今年提出した要望書です。

2025. 7. 31

## 小平市への要望書

特定非営利活動法人

地域福祉ネットワーク第2こだま

1. 3年に一度の介護報酬改定は物価上昇の今日、間に合わない制度となっています。毎年の物価上昇に見合った毎年の報酬改定を行うよう国に求めてください。
2. 国に「公費負担の引き上げ」を求め、人手不足の最も重要な原因である介護スタッフへの処遇改善を根本的に行うよう国に求めてください。
3. 報酬の簡素化を国に求め、基本報酬中心の引き上げを国に求めてください。様々な加算が多すぎます。比重だけは高くなっているが実際の処遇改善には少ししか役立っていない、報酬の1割もない処遇改善加算などは全く設ける必要はありません。
4. 保育、教育、医療を含めケア労働全体に対する低評価を改め、全産業平均以上の賃金水準、公的労働として公務員並みの労働条件を国に求めてください。コロナパンデミックや大災害などへの対応はBCP（事業継続計画）の形式的な押し付けよりも地域に厚いケア体制を日常的に築いていくことを土台にすえてください。
5. 都に対しては介護スタッフの住宅借り上げ制度の改善を求めてください（家賃の5割補助）。地域密着型は対象外になっています。  
市が、住宅借り上げ制度を創設するというのであれば、東京都と同様な水準にしてください。
6. 紙おむつ代補助を抜本的に拡大してください。要介護者の大半が紙おむつを使用していると思われます。その費用は3～5万円にも上る人もいます。紙おむつ費の半分程度の補助を紙おむつが必要な人に実施してください。
7. デイサービスなど通所施設の食事代が値上がりしています。事業者には物価高騰に関する補助が出されています。利用者向けの補助も必要です。現在、低所得者向け食事代補助150食分がありますが、その制限をなくしてください。利用者全体への補助も食事代高騰への補助として実施してください。
8. 物価高騰が続いています。通院時の福祉タクシー券をせめて月当たりで2枚程度増やしてください。また移送サービス事業者への取扱手数料は27円（30円を3円カットされたまま）からせめて50円にしてください。

以 上

**急募！！調理スタッフ！やってみようと思う方、連絡を！**

# 涼を求めて小平霊園に行きました

今年の夏は、記録が次々と塗り替えられる暑さの中、やまびこ慣例の午前のお散歩もままならず、車でのお出かけです。と、言っても単なるドライブではなくて、中央公民館や、中央公園、小平霊園などで、「少しでも歩こう、歩こう」でみなさんは、頑張っていました。つい先日も



8月の猛暑のなかでも、小平霊園の林のなかは意外と涼しかった！

また、夏に慣例のやまびこ内でのラジオ体操のあと、少し足を延ばそうかと、小平霊園へと向かいました。緑が多いと意外と暑さも和らぎ、また辺りの景色も変化に富んで、「こんどの紅葉の季節や来年の桜の頃にも来てみたいね。」なんて会話も耳に入ってくるし、たまには遠足もいいもんだと思いました。地道に公民館で階段を上り下りしていた、みなさんの努力が行楽気分を楽しまれることとなったと、スタッフ一同も何かしら喜びを感じました。今日は9月5日、昨日からの久々の雨降りです。こんな日はやまびこ内での体操とレクリエーション、ちょっと台風が心配ですが、どんな出しもので歌あり笑いありの1日となってくれるのか？期待がふくらみます。

**やまびこ・第2こだまデイサービスでは  
調理・介護・ケアマネスタッフを募集中！  
あなたも一緒に働きませんか？  
資格のない方でも働きながら資格を取れます  
まずはボランティアで参加しませんか  
介護の実際がよくわかると評判です！  
042-343-0456または042-349-3655に電話ください**